学部 / 人間科学領域 / 環境の理解
科目コード：110302

人間工学 Ergonomics

担当教員	小林 宏光				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	生活・環境・道具				
学習目的・目標	疲労、作業能力、人間−機械系などの人間工学の基礎的な概念を教授し、これらの概念を通じ介護器具、ヒューマンエラー、交代制勤務などの看護現場での諸問題についての理解を深める。				

授業計画・内容

回	内容
1	●人体寸法 人体寸法と機器・道具との関係
2	●少数者への配慮 バリアフリー・ノーマライゼーション・ユニバーサルデザインについて
3	●偏側性（1） 右利きと左利きについて
4	●偏側性（2） 右脳と左脳の違い
5	●生体リズム（1） 人間の生理機能の概日周期（サーカディアンリズム）について
6	●生体リズム（2） 時差ぼけ、同調作用、交替勤務などについて
7	●睡 眠（1） 睡眠PSGによる睡眠段階評価方法
8	●睡 眠（2） 徐波睡眠とREM睡眠、睡眠周期など
9	●睡 眠（3） 高齢者の睡眠の特徴、運動や生活習慣と睡眠の関係など
10	●温熱環境（1） 人間の体温調節機能の基礎について
11	●温熱環境（2） 高齢者や乳幼児の体温調節
12	●入浴 入浴事故の実態、原因、またその対策など
13	●道具と人間（1） モノと人間との関わり、ヒューマンインタフェイス設計について
14	●道具と人間（2） フールプルーフ設計、フェイルセイフ設計、冗長なシステムの安全性などについて
15	●総括

教科書	適宜プリント等を配布
参考図書等	
評価指標	定期試験100%
関連科目	生理人類学
教員から学生へのメッセージ	人間工学は看護学そのものではありませんが、どの項目も看護現場の諸問題と密接に関連した内容です。